

# 火の取り扱いに 注意しましょう

年末年始は、何かと慌ただしかったり気持ち緩んだりして、火の取り扱いに対する警戒心が薄れがちになります。かけがえない生命と財産を守るために、火の元には十分注意し、火災のない年末年始をお過ごしください。



もしもの時!

## 慌てずに119番通報しましょう

- ①指令センターは村外にあるため、昭和村のどの場所(住所)かを正しく通報してください。住所がわからない場合は近くにある公共施設名や目印となる施設を伝えてください。
- ②家や車、枯れ草など、何が燃えているのかを詳しく伝えてください。燃えているものが一つとは限りません。

## 年末年始は特に注意

気温が低くなり、空気が乾燥する冬の中でも、年末から年始にかけてのこの時期は、慌ただしさや気の緩みなどで火の取り扱いがおろそかになりやすくなります。暖房器具を使う機会も多く、小さな火種が一気に燃え広がる危険性があるため、火災には十分注意が必要です。

昭和村消防団は、村民の皆さんに注意を呼びかけるとともに、有事に備えた体制を整え歳末特別警戒を行います。

## 日頃から意識と備えを

具体的に注意すべき点を確認していきます。家庭では、外出時や寝る前に必ず火の元を確認しましょう。暖房器具は、燃えやすいものから離れた位置で使用するとともに、定期的に点検し、調子の悪い器具は専門の業者に見てもらいましょう。また、ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消すようにしましょう。

火災を早期に発見するための住宅用火災警報器と、初期消火に有効な消火器を日頃から備えておきましょう。

## 消火器の使い方

消火器は身近な消火手段です。日頃から消火器の設置場所と使い方を確認しておきましょう。



安全栓を抜く



ノズルを火元に向ける



レバーを握って消火剤を放射

## 公共施設などで避難訓練が行われました



1 消火栓の使い方を確認(子育て保育園)、2 消火器の使い方を確認(南小学校)、3 発煙筒を使って真剣に避難(第一保育園)、4 避難袋を使った脱出訓練(大河原小学校)、5 安全な外階段を使って避難(昭和中学校)、6 消火器の使い方を確認(くりのみ学園・たけのご学園)、7 園児が見守る中、初期消火の練習(第二保育園)



## 火の元は常に意識を

これから年末年始の慌ただしい時期を迎えますが、村民の皆さんお一人お一人が火の元に注意していただくことによって火災は減ります。火を取り扱うときは、

くれぐれも目を離さないよう注意していただくとともに、いざという時に役立つ消火器の場所と使い方を普段から確認してください。

昭和村消防団は、村民の皆さんが明るいお正月を迎えられるよう、引き続き警戒していきます。



### 住宅用火災警報器の設置を！

万一、火災が起きてしまっても、早期発見できれば、初期消火や避難、119番通報など早めの対応ができます。未設置の家庭は、設置が義務付けられている住宅用火災警報器を設置してください。



**もしもの時は素早く行動**

万一、火災が発生したら大きな声で叫び、火事であることを周りに知らせるとともに、可能であれば初期消火を試みます。火が背の高さより小さい場合は、消火器での消火が有効です。消火器は、必ず退路である出口を背にして、火元へ向かってほうきで掃くような動きで、徐々に近づいていきましよう。天井に火が回ってしまったら、消火をあきらめ素早く避難しましょう。避難路をあらかじめ確認しておくことも大切です。



火の用心を呼びかけるチラシを配布



消防水利(消火栓)の点検

**消防団の歳末警戒**

歳末の繁忙期を迎えたことから、火気の取り扱い不注意による火災を防ぐため、昭和村消防団は歳末特別警戒を行います。

また、火の用心を呼びかけるチラシを各家庭に配布するとともに、消防水利を点検し有事に備えます。